

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～29℃台を示し、平年並み～やや低い水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の2.4倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げ（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり14トンの水揚げ（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり7トンの水揚げ（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり34kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり約2トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年並み）。五島奈留地区では、1日1統当たり48kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり137kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり214kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり79kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり43kgの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり8kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日1統当たり161kgの水揚げで、前週の約2倍（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/4～8/8）5日間の沖合イカ釣り船、船凍船は、赤イカ漁及び日本海（大和堆周辺海区～礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣船 4日延32隻入港、総計1,903箱、1航海最高100箱、平均59.5箱、ケンサキ（2立～4立入）1,903箱。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

次回の漁海況週報は、平成30年8月24日（金）の発行になります。